



生活クラブ風車



夢風News

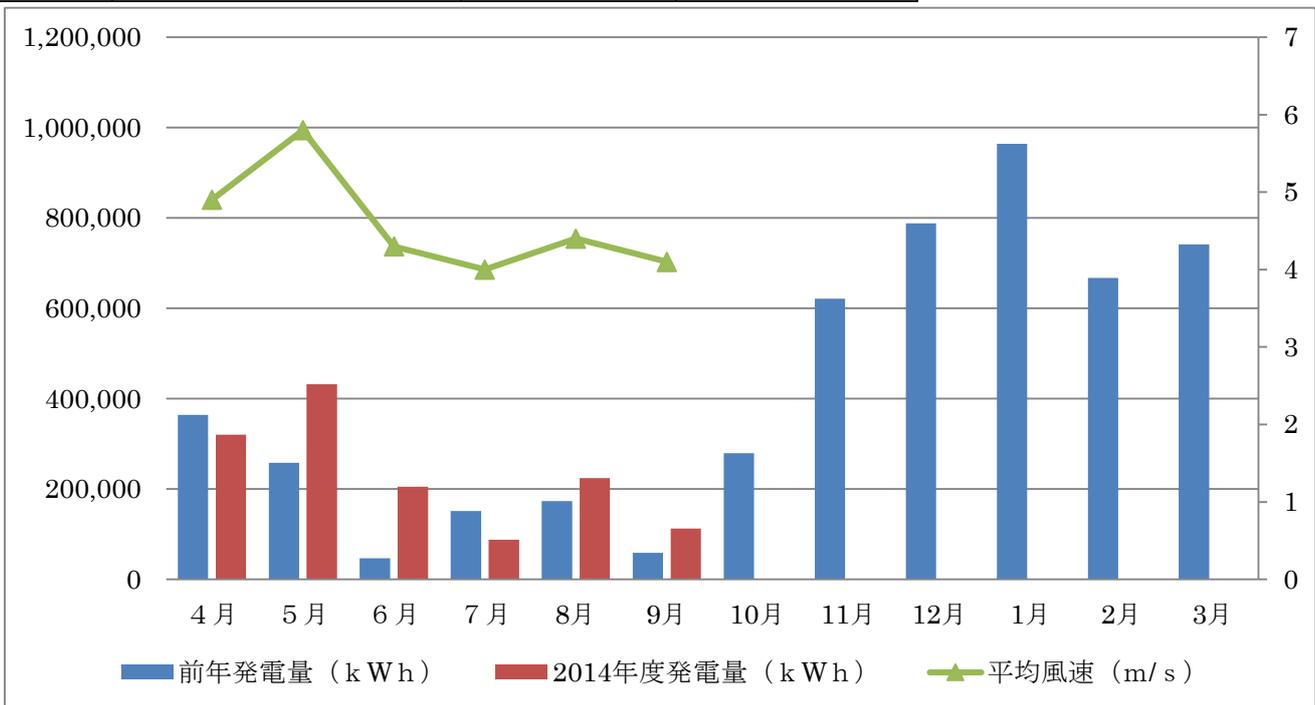
Vol.28

●発行 2014. 10. 15 一般社団法人グリーンファンド秋田

●発行責任者 半澤彰浩（代表理事） ●編集責任者 鈴木伸予

■ 2014年度 発電実績 ■

| | 発電量 (kWh) 【前年比】 | 平均風速 (m/s) | 設備利用率 (%) |
|----|------------------|------------|-----------|
| 4月 | 320,524 【88.0%】 | 4.9 | 22.4 |
| 5月 | 431,507 【167.3%】 | 5.8 | 29.1 |
| 6月 | 201,904 【440.5%】 | 4.3 | 14.3 |
| 7月 | 87,899 【58.0%】 | 4.0 | 5.9 |
| 8月 | 223,914 【129.3%】 | 4.4 | 15.1 |
| 9月 | 112,694 【191.3%】 | 4.1 | 7.9 |

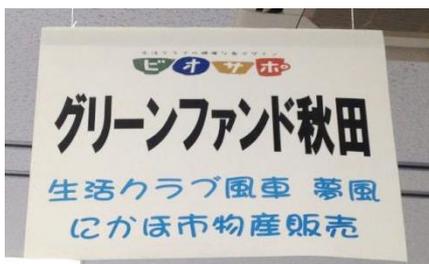


○昨年の9月はギアボックス交換のため風車を停止していたため、今年は前年比191%の発電実績となっています。

○9月は、2.5年次定期点検を実施しました。

また、東北電力の要請による解列のため、4日間、風車を停止しました。この期間に風車の補修をおこなっています。

■生活クラブ虹の街（千葉） ビオサポ大試食会に参加しました



9月20日（土）千葉県で開催された生活クラブ虹の街主催の「ビオサポ大試食会」に、グリーンファンド秋田が参加しました。

「ビオサポ」とは、生命を意味する「BIO」と「美を」を掛け、生命力にあふれた健康な生活をサポートしていくという意味の生活クラブの造語です。消費材で、カラダもサイフも、そして環境や社会も健康にしよう！という提案です。

生活クラブの消費材の生産者による美味しく健康的にもいいお料理の試食に加え、運動グループ活動紹介、環境アピールや復興支援グッズ販売等で、全体で1200名を超える参加があり、大盛況でした。

グリーンファンド秋田は、環境コーナーで、生活クラブ風車「夢風」の建つにかほ市を産物の販売を行いました。

秋田県から来たの？遠い所大変ねえ。いえいえ、東京からなんですと言いつつ、「にかほ市は、お米の産地の遊佐と鳥海山を挟んでお隣で、風と自然が豊かなところですよ」「はたはたは秋田県の県魚で神の魚と書くんですよ」「いちじくの栽培は、にかほ市が北限との事で加工品がたくさんあるんです」「10/30-11/1で千葉県内のデポーにかほフェアでも扱いますので、デポーにお買い物に来てください！」など、組合員の皆さんに風車とにかほ市を身近に感じてもらう事ができるよう、楽しくアピールが出来ました。



■生活クラブ埼玉 40周年記念イベント LOVE フェス



10月5日（日）、埼玉県さいたまスーパーアリーナで開催された、生活クラブ埼玉40周年を祝うイベント「LOVE フェス～未来への贈りもの～」ににかほ市が出店しました。

清水理事長のご挨拶で幕を開けた LOVE フェスは、悪天候にも関わらず、4000人を超える来場者があり大盛況でした。70社を超える生活クラブの生産者による大試食会には、あっという間に広い会場いっぱいに行列が出来、せっけんキングによるダウンのお洗濯実演も楽しく、「過去からの贈り物に夢をのせて未来へつなぐ」というメッセージを実感できました。

にかほ市からは、市役所の斉藤課長と佐々木さん、道の駅ねむの丘の佐々木係長、三浦米太郎商店の三浦代表が参加し、にかほ市と秋田県の産物の販売とアピールを行いました。おおぜいの埼玉の組合員の方々と直接会って交流することができ、にかほを知っていただく良い機会になりました。



秋田県にかほ市から埼玉まで車で往復された皆さん、大変お疲れ様でした。

にかほの風だより（番外編）～佐藤勘六商店では、いちじくの甘露煮づくり真っ最中！！～

9月末日に、いちじくの甘露煮づくりが始まったという「にかほ市大竹地区」の佐藤勘六商店さんにお邪魔しました。

甘露煮づくりは毎年9月下旬から10月末ぐらいまでと時期が短いので、実際に加工しているところを見させていただくのは初めてです。



①新鮮ないちじくのへたを取る。



②大きな和窯で茹で洗い。



③砂糖と水あめを使って、6時間以上、丁寧に煮込みます。

